

—総括表—		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 感染予防対策を継続しつつ、参加しやすいよう工夫し、講座や事業を実施していく。また、地域交流センターやみどり台小コミュハなどの施設外でもケアプラザへ来られえない方々への事業も継続していく。昨年同様に地域の関係団体と顔の見える関係性を維持し、地域の課題の共有や解決へ向け協働していく。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域の課題解決に向け協力していく。また、ボランティアセンターの活動へ連絡会を通し、運営や周知方法など後方支援をしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーに事例を用いて、病識への理解や利用者本人だけでなく家族も含めたアセスメントができるように支援していく。介護サービスだけでなく、社会資源として、地域にあるインフォーマルの周知。またオンラインでの開催など参加しやすい環境を提供していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	8050問題など多問題家族の相談を高齢担当だけでなく、家族構成などで子育て障がいなどの関係機関との情報共有を継続して実施していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザに登録している団体だけでなく地域で活動している団体も含め、ケアプラザが持つ地域のニーズなどの情報提供することで、団体の持つ情報や課題を共有しケアプラザだけでなく、それぞれの団体が支援していけるようにつながる場づくりをしていく。3年目も地域内の障害児者の事業所とのイベントを共催していく。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り 感染予防対策は、ケアプラザとしては消毒や密にならない環境づくりを継続しつつも、利用者や参加者にも感染対策に理解していただけるよう春と秋の2回説明を実施した。 地域活動団体や関係団体へ貸館の活用やイベントへの参加を周知を実施し、団体登録している活動団体のケアプラザ事業への協力参加していただけた。特に、障害児者施設とのイベント期間中に協力していただき、参加者増加の大きな一助となった。昨年より小学校での福祉教育への協力依頼やキャラバンメイト実施と継続した関係性ができつつある。また、貸館利用について、利用団体のロコミや消防訓練用地の利用ができることで登録へとつながってきている。 地域で活動しているキーパーソンになる方や中学校の相談員とも連携して、各事業やイベント開催につながった。 まちづくり委員会や生活支援推進委員会、ボランティアセンター連絡会へ参加し、情報提供や周知方法などの後方支援は、ケアプラザ通信への掲載や行政で実施している助成金やサービスの情報提供しつつ一緒に活動した。また地区別推進委員会でも、会長をはじめとした地域住民の思いに寄り添えるように情報収集し共有し関係機関とともに支援した。 ケアマネジャーへの支援は、新任ケアマネ研修や事例検討会、区ケアマネ連絡会との協働など、家族も含めたアセスメントや権利擁護、社会資源として地域のインフォーマルサービス。特にサービスBについては生活支援Cooが中心となって周知に努めた。こうした勉強会など各職種がうまく連携し協働していた。昨年度に比べオンライン会議は少なくなり、対面での実施がほとんどであった。 多問題家族などの相談に対して、生活支援センター相談員との同行訪問、状況の共有を行い、お互いに相談しやすい環境構築へとつながった。また民生委員児童委員とは定例会議への参加、一人暮らし高齢者名簿のやり取りなど顔合わせが増えたことで、直接電話での相談が増え、サービスにつながらなかつたとしても、見守りへの協力など協働できた。 介護予防や子育て支援については、ケアプランの場だけではなく、地域の交流センターやコミュニティーハウスの場も利用し、活動への支援ができた。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント 感染症予防をはじめ、貸館の利用について色々と制約があるなかで、地域活動団体・利用団体と密にコミュニケーションを取っていただき、その結果がイベントでの協力や事業への参加者増などに大きく寄与したと評価しています。 地域福祉保健計画をはじめ、多くの地域活動・委員会にもご参加いただき、地域情報・課題の把握に務めていただきました。地域に密着した支援を行っている山下地域ケアプラザの地区支援に関する役割は非常に重要です。地区別計画の推進にあたり、引き続き、積極的な情報発信と協力を期待しています。		

# 令和5年度山下地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。</li> <li>公正、中立性の確保について、利用者へホームページなど使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。</li> </ul>	<p>緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応。苦情対応や個人情報に関するマニュアル作成。マニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。</p> <p>法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し伝達している。また行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加している。</p>
実績	9月21日 倫理人権 3月22日 介護保険制度	4月2日 個人情報取り扱い 4月27日 事故防止・対応研修について 5月18日 災害時の対応 8月24日 感染症に関する研修 10月19日 接遇に関する研修 11月16日 人権擁護について 毎月ではないが、個人情報保護や事故防止について、区の情報提供をもとに実施

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	緑区内の居宅介護支援事業所に対して自立支援に基づいた適切な介護予防ケアマネジメントが作成できるよう支援している。	利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるよう支援を行うと共に、利用者の家族が身体的・精神的負担を軽減できるようケアプランを作成します。
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b> 事業者の担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常サービス提供地域を超えて訪問・出張する必要がある場合は、実費(交通費)の支払いが必要となります。	<b>【その他料金】</b> 事業の実施地域を超える場合の交通費実費を徴収 (実費とは最短の公共交通機関を利用した場合の費用の合計とする)
職員体制	常勤職員3名	常勤職員1名
契約者数	174件	36件

### 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>
職員体制			
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和5年度「横浜市山下地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,857,042		19,857,042	18,687,601	1,169,441	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	127,900	△ 27,900	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	19,957,042	0	19,957,042	18,815,501	1,141,541	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,702,042	0	13,702,042	10,445,382	3,256,660	
本俸	10,297,018		10,297,018	8,367,262	1,929,756	
社会保険料	2,000,000		2,000,000	1,175,135	824,865	
手当計	1,284,024		1,284,024	769,824	514,200	
健康診断費	42,000		42,000	29,019	12,981	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額	70,000		70,000	95,798	△ 25,798	
その他	9,000		9,000	8,344	656	
事務費	520,000	0	520,000	622,581	△ 102,581	
旅費	3,000		3,000	2,928	72	
消耗品費	240,880		240,880	52,650	188,230	
会議開費			0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	116,268	△ 66,268	
通信費	50,000		50,000	158,428	△ 108,428	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	54,000		54,000	0	54,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	5,120	4,880	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	5,000		5,000	2,731	2,269	
リース料	50,000		50,000	202,349	△ 152,349	
手数料	30,000		30,000	367	29,633	
地域協力費			0	1,250	△ 1,250	
その他	1,000		1,000	59,370	△ 58,370	
事業費	600,000	0	600,000	237,733	362,267	
運営協議会経費			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	600,000		600,000	237,733	362,267	
その他			0	0	0	
管理費	4,661,000	0	4,661,000	2,868,588	1,792,412	
光熱水費	1,825,040		1,825,040	1,047,164	777,876	
清掃費	2,243,960		2,243,960	1,293,072	950,888	
機械警備費	220,000		220,000	208,560	11,440	
設備保全費	372,000	0	372,000	319,792	52,208	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	0	50,000	
消防設備保守	70,000		70,000	69,520	480	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	59,092	908	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	192,000		192,000	191,180	820	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	9,559	464,441	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	19,957,042	0	19,957,042	14,183,843	5,773,199	
差引	0	0	0	4,631,658	△ 4,631,658	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	127,900	△ 27,900	
自主事業費 支出	600,000	0	600,000	237,733	362,267	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 109,833	△ 390,167	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	△ 21,120	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「横浜市山下地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,111,798		25,111,798	24,764,339	347,459	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0	0	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,700,540		4,700,540	4,700,540	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	29,966,338	0	29,966,338	29,618,879	347,459	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,294,338	0	26,294,338	24,511,396	1,782,942	
本俸	15,354,338		15,354,338	18,237,097	△ 2,882,759	
社会保険料	6,500,000		6,500,000	2,486,362	4,013,638	
手当計	4,000,000		4,000,000	3,653,978	346,022	
健康診断費	60,000		60,000	40,956	19,044	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額	30,000		30,000	67,972	△ 37,972	
その他	350,000		350,000	25,031	324,969	
事務費	854,000	0	854,000	977,102	△ 123,102	
旅費	5,000		5,000	5,998	△ 998	
消耗品費	355,000		355,000	99,586	255,414	
会議贈り費			0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	128,266	△ 78,266	
通信費	50,000		50,000	197,297	△ 147,297	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費	50,000		50,000	0	50,000	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	10,240	△ 240	
職員等研修費	60,000		60,000	0	60,000	
振込手数料	10,000		10,000	6,968	3,032	
リース料	50,000		50,000	212,122	△ 162,122	
手数料	10,000		10,000	367	9,633	
地域協力費			0	2,500	△ 2,500	
その他	204,000		204,000	313,758	△ 109,758	
事業費	1,184,000	0	1,184,000	529,920	654,080	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	22,274	77,726	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,641	△ 641	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	101,005	198,995	
その他			0		0	
管理費	1,508,000	0	1,508,000	762,536	745,464	
光熱水費	571,237		571,237	278,360	292,877	
清掃費	335,000		335,000	343,728	△ 8,728	
機械整備費	55,440		55,440	55,440	0	
設備保全費	90,008	0	90,008	85,008	5,000	
空調衛生設備保守	5,000		5,000	0	5,000	
消防設備保守	18,480		18,480	18,480	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	15,708		15,708	15,708	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	50,820		50,820	50,820	0	
共益費			0	0	0	
その他	456,315		456,315	0	456,315	
修繕費	126,000		126,000	2,541	123,459	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	29,966,338	0	29,966,338	26,783,495	3,182,843	
差引	0	0	0	2,835,384	△ 2,835,384	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	554,000	0	554,000	277,920	276,080	
自主事業 収支	△ 554,000	0	△ 554,000	△ 277,920	△ 276,080	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市山下地域ケアプラザ

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,244	5,844	-600	4,095	3,928	167	7,500	5,500	2,000			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	485	-485	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	認定調査			0			0		485	-485			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	5,244	5,844	-600	4,095	3,928	167	7,500	5,985	1,515	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	7,400	5,808	1,592			0			0
	事務費	50	10	40	50	8	42	100	876	-776			0			0
	事業費			0			0	100	61	39			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	2,500	3,946	-1,446	970	2,631	-1,661	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,500	3,946	-1,446	970	2,631	-1,661			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	2,550	3,956	-1,406	1,020	2,639	-1,619	7,600	6,745	855	0	0	0	0	0	0
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>2,694</b>	<b>1,888</b>	<b>806</b>	<b>3,075</b>	<b>1,289</b>	<b>1,786</b>	<b>-100</b>	<b>-760</b>	<b>660</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催 (1と2)	5: 共催 (1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催 (2と3)	7: 共催 (1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	山っばれ塾	令和2年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	令和2年度開催緑区エンディングノートを利用した講座OBグループ。エンディングノートに関する知識や情報などをアップデートしながら自分らしい終活に取り組んでいく。	1: 高齢者		終活に関する情報や知識をグループで確認しながら、エンディングノートの内容見直し、介護サービスについての情報をアップデートしていく。	7	103
2	山下マネーカレッジ	令和5年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	シルバー世代の「お金」に特化した講座。老後を安心して暮らすための家計の現状把握と見直しと計画についての知識を得ることを目的とする。	1: 高齢者		収入と支出バランスの確認しお財布寿命を確認。医療、介護が必要となり高額となった際の制度の知識。身体機能や家族構成の変化による住み替え講座。(令和5年10月～全4回)	4	24
3	理学療法士が教える足と靴の関係	令和3年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	自分に合ったくつを履くことによって、ウオーキングをして、運動不足を解消し、体力増進や維持をする。	5: 地域		足の測定・正しい靴の選び方、歩き方 年1回	1	13
4	ふーふートントン美味	令和4年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	料理を通して友だちをつくり、献立や買い物をする事で認知予防にもなる。	5: 地域		毎月1回 10:00～14:00	10	82
5	スマホ講座	令和3年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	スマートフォンを使うようになる	1: 高齢者		スマホ・フォンの基本操作 不定期開催	8	68
6	健康体操	令和1年	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者等住民向けフレイル予防を行う(ロコモや認知症予防:コグニサイズ)	5: 地域		第2・4木曜日午前10～11:30 場所: 山下みどり台小コミュニティハウス 第2は体操講師が行い、第4木曜日の支援を行う	10	100
7	頭と身体を使おう	平成21年	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	介護予防目的に高齢者が自立した生活を送るため、定期的に開催。	5: 地域		第4火曜日午前9:30～11 場所: 山下地域交流センター 介護予防全般の講習	11	134
8	配布版「毎日体操・脳トレしよう」『やました元気ゼミ』	令和2年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者がご自身で毎日、介護予防を取組、身体機能低下を予防し、転倒等な軽微な事故が予防できる。また、毎月配布することで、人と人のつながりを作る	5: 地域		毎月、対象者に配布(体操脳トレカレンダー・運動・口腔機能改善含む) 120～180部/月(4人の方に配布をお願いしている)	13	15
9	GOGO脳活	令和3年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症の知識予防方法や認知症の方への対応ができる	5: 地域		毎月第2金曜日10～11:30 ケアプラザ 認知症の知識の取得や予防を学ぶ	11	107
10	のびのび体操	令和3年度	4: 共催(1と2)	2: 発展させるねらい	介護予防体操を行うことと同時に参加者が人と人のつながりを作ることで、より介護予防(フレイル予防)が意識できる	5: 地域		第1.3木曜日午後13:30～15 ケアプラザ 介護予防体操を行う	22	591
11	ぼちぼち倶楽部	令和5年	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	それぞれ対象者に合った活動(文化)を行うことで楽しみを見出し、一人一人がつながり、通いの場として継続できる	5: 地域		第2水曜日午後1:30～15 ケアプラザ 手芸活動行う	10	96
12	筋トレ講座	令和5年	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	男性を対象として筋トレを行い、閉じこもりを予防する	5: 地域		第3月曜日午後13:30～15 ケアプラザ チューブを使用し、筋トレを行う。各自は毎日自宅で筋トレを行い、月1回集まり、確認を行う	10	62
13	女性向け遺言知識講座「思いを繋ぐ」	令和5年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	山っばれ塾のメンバーを中心とし、地域住民も参加可能なオープン講座。相続の知識や自身がなきあとの手続きを知り、自分の思いを形に残すことを目的とする。	5: 地域		「相続など関係ない」と思っている女性が多い中で、配偶者の世界などによる相続が発生する中で、相続の知識や自身がなき後の事や、思いを形にする方法を知る。	4	68
14	青空体操ひろば	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	体操を通して住民同士の繋がりを作る。	5: 地域	1, 2, 3, 4	毎週火曜日～土曜日 9:30～ ラジオ体操をする前に、チューブでストレッチや右脳体操をして笑って筋肉をほぐしてから行う	229	1,849

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	ピヨピヨひろば	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の居場所作り 情報交換できる場をして活用	3:養育者及び乳幼児	2	毎月第2、4木曜日 10:00~11:45 第2木曜日は、自由にひろばとして遊んでいた いただき最後に読み聞かせをする。 第4木曜日は、こどもの成長記録としてアル バム作成も自由参加でできるひろばとして 参加していただく(1回500円)	19	417
16	ママといっしょに！Yeah！	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の居場所作り 情報交換できる場をして活用	3:養育者及び乳幼児	2	毎月第1火曜日 10:15~ 1時間はベビーマッサージや親子でできる 体操を行う。最後の30分は情報交換や相談 できる仲間づくりを行う	11	73
17	歴史謎解き講座	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民に日本文学を楽しんでもらいなが ら、新たな仲間づくりと新たな担い手発 掘を目的	5:地域	2	毎月第3水曜日 13:30~15:00 日本史に加え世界史の 様々な謎とされる出来事も探っていく	14	138
18	古典文学 枕草子	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	年齢関係なくお好きな方が集まるので長く 学び合う仲間づくりを行う。また地域活動 へ参加する仕組みの啓発を行い、人材の 育成を行う。	5:地域	2	作者である清少納言が自身の宮廷生活 を中心に事前や人生、人間関係などにつ いての体験や考えを思うままに書いてい ます。とくに斉唱納言が「をかし」と感じた ことを中心に取り上げていく	14	160
19	事例検討会	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域で関わりのある居宅介護支援事業所 を対象に、ケアマネ業務、各関係機関や 家族との連携が円滑にできる事を目的と する。	6:事業者	5,7	年間4回を予定。5月、8月、11月、2月の第 4水曜日 15:00~17:00	4	51
20	おもしろ科学たんけん工房 カラカラスネーク	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	おもしろ科学たんけん工房の方々に来て いただき、カラカラスネークを工作する前 にへびの性質についてクイズをだし親子 への関心を引付け詳しい情報が知りたい ときは図鑑を参考にするように子どもた ちの意欲や調べる楽しみを向上する目的	4:子ども・青少年	2	カラカラくねくね。乳酸菌飲料の空容器を つなげて、くねくね動くスネークを作って みよう！へびについてのクイズにも挑戦し てみよう	1	32
21	竹を使ったこども工作教室	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	北八朔公園愛護会と協力し、北八朔公園 で伐採した竹を使った工作をすることで地 域の方々に北八朔愛護会の周知と担い 手の発掘をする目的	4:子ども・青少年	2	7/31 低学年:竹ポックリとキーホルダー 8/5 高学年:水鉄砲 愛護会からは今後北八朔公園での活動 を皆さんに案内	2	48
22	理学療法士が教える子どもの ための足育講座	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	正しい靴を選び、正しい足のケアを小さい 頃から行い、足の機能を守り育てる事を 目的で行う講座	3:養育者及び乳幼児	2	子どもの運動能力や集中力にも関係があ ると言われている靴。足は身体を支える 大切な土台。 ①足の計測会 ②足の健康のために大切なこと ③子どもの靴の選び方・履き方	1	16
23	イルカの会	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の方に認知症の理解と接し方を知 り、地域で認知症の人を支えていく。	5:地域	1	認知症の特徴を知る。高齢者や認知症な ど介護を必要としている人への接し方を 場面ごとに話す。	5	21
24	山下つながるアート展覧会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・アート展覧会を通して、ケアプラザの周 知 ・障がい児者への居場所作り ・障がい児者と地域住民が身近な存在と なるような働きかけ ・共に助け合いが出来るきっかけ作り	2:障害児・者	1, 3, 4, 5, 6	ケアプラザ周辺の障がい児者施設の作品 を展示し、期間中にスポーツのポッチャを 通して地域の方や事業所同士のつながり が出来るように行った。展覧会は11/15~ 11/30の15日間行った。 実際に作品を手にとって見るように販 売も行った	15	528



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
25	小学生向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	認知症がどんな病気か知る。認知症の人の気持ちを理解し、どのように接したら良いか学ぶ。	4：子ども・青少年	7	認知症の方の気持ちを理解し寄り添えるような声掛けが出来るように、アニメーションの動画を配信しその後キャラバンメイトの方々に演技をしてもらった	1	90
26	小学生向け障害者スポーツについて(障害理解講座)ポッチャ交流会	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害を理解する。可哀想と思うのではなく、どうしたら一緒に活動ができるかを考える。障害があっても、高齢者でもだれでも一緒にできるスポーツ、ポッチャを学んで交流する。	4：子ども・青少年	6, 7	みどり福祉ホーム、にじいろに通う大滝肇さんにプロジェクターに合わせてお話しをしてもらいました。ポッチャのルールについては、緑スポーツセンターの箕輪さんにポッチャのルールを説明してもらい、にじいろに通う利用者達と一緒にポッチャ大会を行った。大会中も、生徒たちが自主的にサポートしたりしていた。	1	97
27	中学生向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症を理解し、地域の見守りを一緒に行えるように学ぶ	4：子ども・青少年	7	認知症の方の気持ちを理解し寄り添えるような声掛けが出来るように、アニメーションの動画を配信しその後キャラバンメイトの方々に演技をしてもらった	1	133
28	一般向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	認知症を理解し、地域の見守りを一緒に行えるように学	5：地域	7	認知症の方の気持ちを理解し寄り添えるような声掛けが出来るように、アニメーションの動画を配信しその後キャラバンメイトの方々に演技をしてもらった	2	39